

<b>〔科目名〕</b> 地域企業論 I	<b>〔単位数〕</b> 2 単位	<b>〔科目区分〕</b>
<b>〔担当者〕</b> 生田 泰亮 IKUTA Yasuaki	<b>〔オフィス・アワー〕</b> <b>時間:</b> メールか直接アポイントメントを <b>場所:</b> 1305 研究室	<b>〔授業の方法〕</b> 講義
<b>〔科目の概要〕</b> <p>「地域に根ざした企業の経営を学ぶ」が本講義のテーマである。地域企業論 I では「地域と企業の基本的関係」「企業の構造と機能」「地域の産業構造と事業戦略」を理解するための基本的な概念枠組を学ぶ。また事例を紹介しながら「地域で企業を経営する」ための基礎的な知識や理論、昨今の地域と企業に関する動向を学ぶ。</p>		
<b>〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつか〕</b> <p>複眼的思考を身につけなければ、地域のビジネス・リーダー、コミュニティ・リーダーとして活躍することは難しい。本講義は、1年次で学んだ内容を基本としつつ、多くの選択必修科目と関連性のある「総合的な科目」「中核的な科目」であると認識してほしい。本講義で新たな知見を得るとともに、これまで学んだ講義の復習であり、これから学ぶ講義にとっては予習となることが多々あるだろう。関連づけ、反復することで「有効な思考法」として身につく。</p>		
<b>〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕</b> 地域企業論 I, II の両講義を通じて、以下のような目標とする。 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 地域の経済、産業、市場、企業の動向を理解するための専門用語を理解し「基礎知識」を身につける。</li> <li>(2) 地域企業がおかれた社会、市場、産業などの「環境分析」のための基本的な理論を身につける。</li> <li>(3) 地域企業の経営政策、事業戦略についてケース・スタディを行い、その成果として「問題解決策の立案」としての「戦略策定」や「政策提言」ができる。</li> </ol>		
<b>〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕</b> <p>「説明がわかりやすい」「質の高い講義内容」といった高い評価が多数ありました。一方で少数ながらも、これらの高い評価と相反する様な意見もありました。可能な限り対応していきますので、質問や相談は早めに遠慮なくお願いします。なお、シラバスに記載し、講義中にもお伝えしている事項について、十分に理解されずに受講されている方が見受けられます。履修されるか否かは、シラバスをよく読み、初回の講義での説明をよく聞き、検討し、ご理解いただいた上で決めてください。受講態度の悪い学生(遅刻、欠席)、周囲の迷惑(私語)になるような行為には厳しく対処します。</p>		
<b>〔教科書〕</b> ・なし。毎回資料を配布。		
<b>〔指定図書〕</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三戸浩、池内秀己、勝部伸夫『ひとりで学べる経営学 (改訂版)』文真堂、2021年。</li> <li>・塩次喜代明、高橋伸夫、小林敏男『経営管理 [新版]』有斐閣、2009年。</li> <li>・M.E.ポーター著、竹内弘高訳『競争戦略論 (I) (II)』ダイヤモンド社、1999年。</li> <li>・O.E.ウィリアムソン著、浅沼万里、岩崎晃訳『市場と企業組織』日本評論社、1980年。</li> </ul> その他、適宜指示、紹介する。		
<b>〔参考書〕</b>		
<b>〔前提科目〕</b> <p>「経営学基礎論」を履修し、単位取得していること。また「有効な思考法」を身につけるためには、経済学、財務分析などの基礎知識も必要となる。関連する科目を履修している、あるいは今後の履修科目について計画的に考えたうえで、履修することを強く推奨する。特に秋学期の地域企業論 II を受講することも念頭に本科目を受講することを強く推奨する。</p>		

<p>〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)</p> <p>理解度テスト (20%)          課題レポート (30%) 複数回実施する予定。詳細は講義内で説明する。          学期末の定期試験 (50%)          ※講義進行の妨げとなる行為があり、注意を聞き入れない場合は、当該学生の本科目の評価を「F」とする。          無断欠席や課題レポートの未提出については、評価において大幅に減点する。</p>	
<p>〔評価の基準及びスケール〕</p> <p>80%以上 A      79-70% B      69-60% C      59-50% D      49%以下 F</p>	
<p>〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕</p> <p>ポイントを絞りつつも他の科目との関連性をしっかりと解説し、他の専門科目を深く学ぶ動機づけになるように心がけたい。毎回のテーマ、キーワード、問いやトピックに対して、疑問を持って講義に臨んでほしい。</p> <p>秋学期の地域企業論Ⅱでは『中小企業白書』を取り上げ、統計データの分析、地域における企業経営に関するケース・スタディ等を行う。こうしたことを通じて、地域企業を取り巻く環境分析、最新の動向を読みとく力、企業経営における戦略策定、地域産業への政策提言を行う力を身につけることを期待している。そのためには、地域企業論Ⅰでの学習内容が基礎となるので、この点も留意して履修してほしい。</p>	
<p>〔実務経歴〕</p> <p>該当なし</p>	
<p>授業スケジュール</p>	
第1回	<p>テーマ (何を学ぶか) : イントロダクション          内 容 : 講義内容と進め方について          (※講義についての説明を行うのでシラバス持参のこと)</p>
第2回	<p>テーマ (何を学ぶか) : 現代社会における地域と企業 (1) 現状と課題の概観          内 容 : 地域社会に与える企業の影響を考える。          なぜ、ねぶた祭りに企業は協賛するのか?</p>
第3回	<p>テーマ (何を学ぶか) : 現代社会における地域と企業 (2) 基本概念の整理          内 容 : 経営経済学的な「地域社会」の理解 (地域、市場、産業、政府・自治体、企業、個人)</p>
第4回	<p>テーマ (何を学ぶか) : 地域社会と企業 (1) 地方と都市と企業の歴史的考察          内 容 : 農村社会と近代都市、工業都市をキーワードに          コミュニティとアソシエーション、2つの原理とその重層性について学ぶ</p>
第5回	<p>テーマ (何を学ぶか) : 地域社会と企業 (2) われわれの生活と地域、企業          内 容 : 人口問題を中心に地域社会と企業の関係を考える。「極点化社会」「表日本と裏日本」</p>
第6回	<p>テーマ (何を学ぶか) : 地域社会と企業 (3) 現代のコミュニティ問題と地域企業          内 容 : 労働、雇用機会の変容、地域社会を支える企業、業種転換・市場拡大を試みる中小企業</p>
第7回	<p>テーマ (何を学ぶか) : 理解度テストと前半のまとめ          内 容 : 講義時間内に基礎知識の定着のために理解度テストを実施する。前半のまとめを行う。</p>

第8回	<p>テーマ (何を学ぶか) : 企業の構造と機能 (1) 企業の成長・発展段階、企業の存在意義の変容</p> <p>内 容 : 経営体として企業を理解するための基礎的概念(企業、経営、事業)を学ぶ</p>
第9回	<p>テーマ (何を学ぶか) : 企業の構造と機能 (2) 様々な企業観と企業の種類</p> <p>内 容 : 経済学的、経営学的な企業観、法的制度としての企業、その種類について学ぶ</p>
第10回	<p>テーマ (何を学ぶか) : 企業の構造と機能 (3) 利益から考える企業の存在意義</p> <p>内 容 : 財務会計学的な企業理解、「利益」の現代的意義(マルクス、ウェーバー、ドラッカー)</p>
第11回	<p>テーマ (何を学ぶか) : 事業論 (1) 資源、技術、商品、市場からの環境分析</p> <p>内 容 : 経営資源や技術、商品、市場の観点から事業を考える。</p>
第12回	<p>テーマ (何を学ぶか) : 事業論 (2) 産業の立地条件</p> <p>内 容 : M.E.ポーターの理論を中心に、競争要因、競争優位性、産業の立地条件を学ぶ。</p>
第13回	<p>テーマ (何を学ぶか) : 事業論 (3) 企業間関係論、戦略的提携の視点</p> <p>内 容 : 産業構造を理解するために、組織間関係の理論 (企業集団、系列化、戦略的提携) を学ぶ。</p>
第14回	<p>テーマ (何を学ぶか) : 事業論 (4) 競争のない新たな市場開拓 ブルー・オーシャン戦略</p> <p>内 容 : 競争市場から独自の新たな市場空間を目指すための諸概念を学ぶ。</p>
第15回	<p>テーマ (何を学ぶか) : 春学期全体の振り返りとまとめ、秋学期に向けての課題</p> <p>内 容 :</p>
試験	